

◆第44回 「美術の祭典・東京展」開催に寄せて

昨年は、10月に開催時期が移った最初の展覧会でした。さわやかな気候のもと、活気ある展覧会が実施出来ました。今後、4年間は変わらずにこの日程で開催されます。作品制作のサイクルを安心して確定させてください。

会員総会で承認されましたが、事務局長が関根恵一さんから田所一紘さんになりました。事務の全体を掌握していた関根さんが一身上の都合で少し会を休みます。後を引き継いだ田所さん、少し不慣れな点もありますが事務局全員で盛りたてて行きたいと思っております。関根さんの早期の復帰を願いつつ、ご報告いたします。

募集期限を延ばしたポスターコンペでしたが、最終的には、8名、18点の応募がありました。3月の運営委員会で慎重審査の結果、前回に続き、儘田能光氏のデザインが選ばれました。作者名は伏せて審査しましたが、氏の作品が多く票を集めました。今回からは、図録の表紙も担当してくれる事になりました。期待大です。

第44回展は、昨年からの「顕彰故展中村正義展」が何と云っても目玉です。

今回は、PART 2としてテーマ別に名品を展示します。また、中村正義の身近で、第1回東京展の開催に立ち会った笹木繁男氏(現代美術資料センター主宰)の講演会も予定されています。人間中村正義を知るいい機会です。当日は美術館の講堂に足を運んでください。企画展は、会の重鎮「福井昭雄展」です。生命の生々流転をモチーフにした作品群に出会えると思います。また、コミックアートでもイベントを企画中です。御期待下さい。

多くの企画とバラエティーに飛んだそれぞれのジャンルが東京展の特徴です。たくさんの方から楽しい展覧会とおほめの言葉をいただきます。しかし、それとて、会員や一般出品者が個々に作品と真剣に向かい合った結果です。一人ひとりの作品が展覧会を支えています。

いつも同じような言葉の締めくくりとなってしまいますが、個の作家として少しでもステップアップした作品が生み出されるよう、お互い研鑽致しましょう。

10月に会場で、作品とお会いできることを楽しみにしています。

東京展美術協会運営委員長 青柳芳夫

◆2018年度 東京展美術協会事業計画

No.	開催日程	主催事業内容	開催場所
1	5月27日	東京展美術協会会員総会	渋谷区勤労福祉会館
2	6月24日	岡本太郎美術館見学ツアー	岡本太郎美術館
3	7月19日～7月31日	美術の祭典・多摩展	たましんギャラリー
4	10月7日～10月14日	第44回 美術の祭典・東京展 搬入 9/22(土)、23(日) 搬出 10/16(火) 申込期間 8/19(日)～9/2(日) 懇親会 講演会(笹木繁男) 10/8(月・祝)	東京都美術館
5	11月26日～12月1日	神奈川展コミックアート(仮称)前期	ギャラリー SHIMIZU
6	12月3日～12月8日	神奈川展コミックアート(仮称)後期	ギャラリー SHIMIZU
7	2月4日～2月9日	春季会員展	ギャラリー一暁
8	2月11日～2月21日	受賞記念展	ギャラリーセイコウドウ
9	3月19日～3月24日	美術の祭典・関西展	原田の森ギャラリー

◆第20回 東京展美術協会会員総会



2018年5月27日(日)、渋谷区勤労福祉会館で、東京展美術協会会員総会が開催されました。運営委員長のあいさつ、議長、記録係の選出に続いて下記事案について事務局より報告が行われ、出席者全員による質疑応答の後、採決を行い承認されました。主な承認事項は以下の通りです。

- 新運営委員、退任運営委員、新事務局長、新事務局員、の承認。
- 平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画。
- 平成29年度決算、監査報告及び平成30年度予算案。
- 前年度の主催事業の報告及び今年度の主催事業に関する説明、日程の報告。
- 新会員、退会者の報告。
- ポスターデザインコンペの結果発表と公開。応募者8名(応募作品18点)の中から儘田能光さんの案が採用されました。
- 来年の45回記念展において、5年間隔の賞＝記念展賞を会員皆様の投票によって決める方向となりました。
- 【美術の祭典・多摩展】および【神奈川展コミックアート】が新規発足いたします。皆様応援よろしくお願ひ致します。

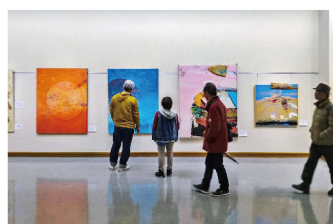


ポスターデザインコンペに応募された作品

◆美術の祭典・関西展

第7回美術の祭典・関西展は、2018年3月20日(火)から25日(日)まで兵庫県立美術館 原田の森ギャラリーにて開催されました。関西展出品者をはじめとして東京展からの賛助出品も加わり、盛会裏に閉会いたしました。たくさんのご来場ご声援ご指導ありがとうございました。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

- 出品者59名、出品点数79点(賛助出品含む)
- 入場者717名(前年555名)



美術の祭典・関西展 会場風景



◆グルグルハウス賞受賞記念展

藤倉春日展「花色の時」 新潟県柏崎市のグルグルハウス高柳にて2018年4月15日(日)から5月27日(日)まで開催されました。白黒作品を中心としながらもカラフルなお花の絵も混じえ、とても格調の高い空間となっていました。長い期間の展示ありがとうございました。



◆第12回 東京展 受賞記念展

2018年2月12日(月)～22日(木)ギャラリーセイコウドウで開催されました。出品者19名、来場(芳名帳記名)者257名。初日に行われたオープニングパーティーは約60名の参加がありました。勅使河原純、瀧梯三、清水康友、赤津侃、山本冬彦、美術年鑑社、麗人社、ギャラリーカノン、K's Gallery、ギャラリー暁、ギャラリーLaMer、ギャラリー絵夢、ギャラリードードー、中和ギャラリーと多数の来賓来訪者がありました(芳名帳より・敬称略)。



◆東京展賞受賞記念二人展

2018年4月2日(月)～4月7日(土)東京展賞を受賞された吉川潔さんと田代由子さんの二人展がギャラリーGK(主催)にて開催されました。



◆第12回 東京展春季会員展

2018年2月5日(月)～2月10日(土) ギャラリー暁(東京・銀座)にて春季会員展が開催されました。会場を移して2年目となり、好天にも恵まれて昨年同様の盛況と

なりました。レベルが上がり、明るく見やすいと好評でした。来客数418名(芳名帳)。赤津侃、笹木繁男、清水康友、稲垣三郎、上條陽子、美術年鑑社、クサカベ、アートライフ、ギャラリーGK、画廊るたん、ギャラリ李志門、光画廊、K's Gallery、アーチストスペース、ギャラリー八重洲、グルグルハウス(広報)など多数の来賓来訪者がありました(芳名帳より・敬称略)。

※岡本太郎美術館見学ツアーは2018年6月24日(日)に開催されます。
写真協力：関西展参加者一同、山崎仁、吉川潔 会報編集：明輪勇作